

331ガス溶接装置を起因物とする死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2019	1	9 ～ 10	清掃センターの定期整備工事で、溶融炉残渣を除去する際、炉底地金塊を溶断中に火花が作業服の右裾に引火し、右脹脛に火傷を負った。	47	11	30309	10 ～ 29
2	2019	2	9 ～ 10	切断機ラインにて手切り吹管を使用してスクラップを切断中に、切断したスクラップを取ろうとして左手を伸ばしたところ、右手に持っていた手切り吹管で左手小指側の軍手に火が付き、左手小指、薬指に火傷を負った。	59	11	11209	—
3	2019	2	16 ～ 17	工場内にて、自動車解体中、マフラーのボルトをガス溶断中、切れたボルトが右膝の作業服に飛び、ボルトが高温で作業服が溶け貫通し、右下腿の熱傷を負った。	41	11	11209	100 ～ 299
4	2019	2	13 ～ 14	工場内で、H型鋼をガス（サンソ・アセチレン）切断作業中、吹管を切断物に近づけすぎて火が消えたため、バルブを緩め、再度点火時にホース（吹管根元）から漏れたガスに引火し爆発した。その際、顔の右側部を負傷した。	22	14	11209	10 ～ 29
5	2019	3	13 ～ 14	火力発電所にて、定期点検修繕工事のエアブロー作業中、熱を帯びた堆積灰上でスコップを使用し、掻き出していた際、両側足部に熱傷を負った。	51	11	30309	1～ 9
6	2019	4	11 ～ 12	金型交換作業で、フォークリフト運転者がプレス機に金型を載せるとき、前方に被災者がいることに気付かず前進し、かつ、運転操作を誤ったため、フォーク部より金型が滑り落ちた。その際に金型が	66	11	11209	10 ～ 29

				床でバウンドし、被災者の左足甲に当たり骨折した。				
7	2019	4	11 ～ 12	工場内にてスポット溶接作業中に、左手で部品を機械に固定し、右手でナットをセットしたとき、ナットが傾いたため、左手でナットの位置を修正していた。その際、誤って起動スイッチに接触し、上電極とナットで左手親指を挟み、裂創を負った。	26	7	11203	30 ～ 49
8	2019	5	14 ～ 15	工場内にて、修繕船APT内でガス切断機に着火しようとした際、ガスに引火して右手・首・両耳など熱傷を負った。	56	11	11501	1～ 9
9	2019	7	15 ～ 16	工場非鉄ヤード内にてガス溶断作業中、溶断部分から跳ねてきた火の粉が作業服の右足脛付近に付着した。気付かず作業を続けていたため、作業服が焼けて右足脛側面部分に火傷を負った。	51	11	150103	30 ～ 49
10	2019	7	9 ～ 10	工場内にて、ダンプの鉄板を取り外す作業中、ガスバーナーで鉄板を切断していたところ、ズボンに安全靴の中に入れており、火の粉が安全靴の中に入り、左足甲の熱傷を負った。	62	11	11509	10 ～ 29
11	2019	7	8 ～ 9	当社リサイクルセンターにて、油使用したドラム缶を入れ物として使用するため、上蓋を取り外す作業中、ガス切断しようとした際、火が吹き出し、顔と首を火傷した。	71	16	150102	10 ～ 29
12	2019	8	11 ～ 12	船体ブロックの傾斜した壁面（高さ約1.8m）に取り付けてあったピースを撤去した後、溶接痕をガウジングで流していた。その際、溶けた金属が長靴の中に流れ込み、右足に火傷を負った。	26	11	11501	10 ～ 29
13	2019	8	21 ～ 22	自社事務所敷地内の電灯柱撤去作業終了後、鉄柱をガスバーナーで切断していた。その際、手元が狂って自分の足下に炎を向けてしまい、安全靴のゴムが溶けた熱で、左足に火傷を負った。	62	11	30199	10 ～ 29
14	2019	10	15 ～ 16	施設内にて、冷媒ガス回収作業中、ガスボンベのバルブを閉め、回収機側ホースを外した際、ボンベ内のガスが噴き出し、両手指の凍傷を負った。	45	11	30201	30 ～ 49
			15	パイプを管台に載せてガス切断で穴あけ作業中、作業服に飛び火し				10

15	2019	11	～ 16	左肘を火傷した。	39	11	11209	～ 29
16	2019	11	～ 14	タンク状の鉄スクラップをガスにて切断していた。その際、タンクの下側に粉状の金属があり、ガスの火を当てたところ金属が勢いよく燃え出した。頭部には防災頭巾を被り、防護面を使用して作業していたが、防護面の下部より熱風が入りこみ、防災頭巾から露出していた鼻周辺の顔面に火傷（レベル2）を負った。	46	11	11009	1～ 9
17	2019	12	～ 15	8階スラブ型枠上で、柱主筋の圧接作業をしていた際、酸素がなくなったのでポンペを交換した。その後、酸素の供給量を全開にした状態で火口に点火したところ、逆火現象（フラッシュバック）を起こしてホース部分が爆発し、右足脛から太腿にかけて火傷を負った。	64	16	30201	30 ～ 49
18	2019	12	～ 18	工場内にて、立ち作業で鉄筋をガスで切断していたときに、ガスの先端を左手革手袋内に入れてしまい、左手甲部に火傷を負った。	23	11	11301	30 ～ 49
19	2019	12	～ 9	工場内にて、プレーナー（ガス溶接機）レール清掃中、機体下部のレールを露出するため、機体を移動した際、つまずき駆動輪のギアに右手がつき、右手小指がギアに巻き込まれ（ゴム手袋着用）負傷した。	55	7	11209	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。